

# 町内会はいわば一つのまち

## なぜ町内会が必要なのか

人は同じ場所に定住して一緒に生活すると、解決すべき問題が絶えず生まれます。

例えば、地域の憩いの場である公園も手入れをしなければ、あつという間に草が生い茂り、ごみだらけで不快な場所になってしまいます。

また、ごみの集積場所を不潔にしておくと、カラスやネズミなどの被害が発生したり、飛散したごみが住宅まで飛んできたりするなどの被害が起こりますし、住宅街の中にある暗がりには、地域に住む人たちに不安を与え、事件や事故などが発生する恐れもあります。

そのほかにも、災害があつたときなどは、助けが必要になります。このような問題を解決するのが町内会なのです。

## 縁から始まる地方自治

「そんな問題は市役所が解決すればいいだろ」



そう思う方もいるでしょう。

しかし、現実を目を向けると、地方自治体を取り巻く環境はとてつもなく、登別市も例外でないのは皆さんもご存じだと思います。

そうなると、それぞれの地域の細かな問題の解決に力が入れられなくなり、また、解決する場合でも、時間が掛かることがあります。

自分たちの住む地域の問題について自分たちで知恵を出し合い、そして行動し、速やかに解決する。

町内会は、その地域に住んだ縁から始まる一つの地方自治なのです。

## 町内会はそれぞれが一つのまち

先ほど、町内会是一个の地方自治とお話ししましたが、町内会を一つのまちに例えたとき、全国の市町村にそれぞれ特徴があるように、町内会でもそれぞれに特徴ある取り組みが行われています。

例えば、子育て世帯が多い富岸町内会では、公園や会館などを会場に『七夕まつり』や『クリスマス会』などを開催し、子どもたちや保護者

の交流の場を演出していますし、ほ



▲富岸町内会『七夕まつり』の様子

### 登別市連合町内会

なる み ふみ あき

事務局長 鳴海文昭 さん

最小単位の地方自治  
それが『町内会』